

5

友だちいないと不安だ症候群につける薬 (2)

説明文 1



ことば・コトバ・言葉

◆ことわざ

ことわざは、昔から言い伝えられている短いことばで、教えやいましめなどの意味をふくんでいます。

例 ・あぶはちとらず二つのものを取ろうとよくばって、結局どち
らもとれないこと。

・雨降ふって地固まる二もめごとなど悪いことが起こったあとは、
かえって前よりもよい状態じょうたいになること。

・石の上にも三年三辛抱しんぼうしていればやがては成功するということ。
一寸いっすん先はやみ二先の見通しが立たないこと。

・馬の耳に念仏ねんぶつ意見や忠告ちゅうこくをしても全く聞く気配がなく、効き
目がないこと。

・きじも鳴かずばうたれまい二よけいなことを言わなければ、災さい
難なんにあわずにすむ。

・善ぜんは急げ二よいと思ったことは、すぐ実行せよ。
・たで食う虫も好き好き二人によって好みはさまざまであること。

・どんぐりのせいくらべ二みんな同じくらいで、特にすぐれたも
のがないこと。

・花よりだんご二①風流がわからないこと。
②外見よりも内容が大事なこと。

・ひょうたんからこま二じょうだんで言っていたことが本当にな
ること。



漢字を書こう。

率
玄 11
ソツ*
リツ*
ひきいる

態
心 14
タイ

価
イ 8
カ
あたい*

眼
目 11
ガン
ゲン*
まなこ*

久
ノ 3
キユウ
ク*
ひさしい

故
文 9
コ
ゆえ*

賛
貝 15
サン

支
支 4
シ
ささえる

(1) 当たるカクリツが高い。

(2) タイドを決める。

(3) ブツカの高い都市。

(4) キンガンのめがね。

(5) ヒサしぶりに会う友。

(6) 交通ジコにあう。

(7) 兄の意見にサンセイだ。

(8) 駅前にシテンを出す。



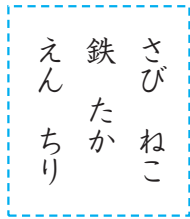
ことば・コトバ・言葉

1 上のことばと下のことばを——線で結び、ことわざを完成させなさい。

- (1) ちりもつもれば . . . まわれ
- (2) 急がば . . . わらをもつかむ
- (3) おぼれる者は . . . 山となる

2 次のことわざの〔 〕に入ることばを下の〔 〕から選び、書き入れなさい。

- (1) 能ある 〔 〕 はつめをかくす
- (2) 〔 〕 の下の力持ち
- (3) 身から出た 〔 〕



3 次のことわざの意味とよく似た意味のことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 念には念を入れよ
- (2) かつぱの川流れ
- (3) ぬかにくぎ

- ア のれんにうでおし
- イ さるも木から落ちる
- ウ 石橋をたたいてわたる



次のなぞかけにあてはまるものを下の絵から消していくと、最後に一つ残る絵があるよ。それはどれかな？

風を切るもの

すっぱくするもの

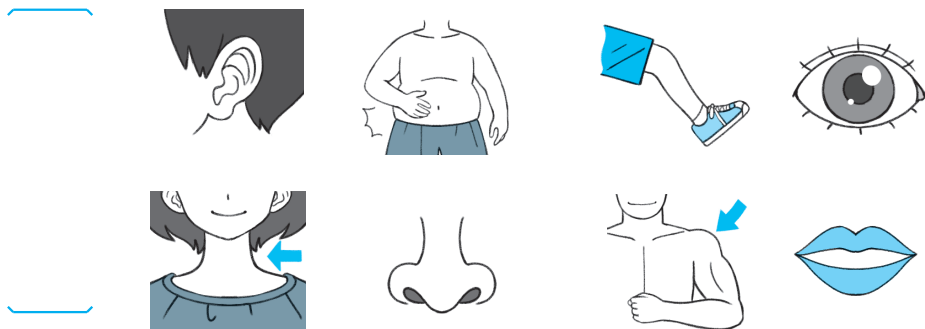
ぼうになるもの

たこができるもの

回らなくなるもの

回るもの

立つもの



6

友だちいないと不安だ症候群につける薬 (3)

説明文 1



ことば・コトバ・言葉

慣用句

二つ以上のことばが結びついて、特別の意味を表すようになったことばを慣用句といいます。

例 ・頭がいたい 〓 うまくいかないことがあって、なやむ。

山のような宿題に頭がいたい。

・馬が合う 〓 気が合う。

弟はとなりの席の子と馬が合うらしく、よく遊びに行く。

・口がかたい 〓 やたらと人にしゃべらない。

あの人は口がかたいので、何を話してもだいたいじょうぶだ。

・首を長くする 〓 とても楽しみにして待つ。

祖父からの手紙が届くのを、首を長くして待っていた。

・世話を焼く 〓 進んで人のめんどうをみる。

母は何だかんだとぼくの世話を焼く。

・鼻が高い 〓 得意である。じまんである。

兄が水泳大会でゆう勝したので、ぼくも鼻が高い。

・日の目を見る 〓 世間に知られるようになる。

長年の研究の成果がやっと日の目を見ることになった。

・目がない 〓 たいそう好きである。

父はあまいものに目がない。

・わけはない 〓 かんたんである。

決められたとおりにやるだけならわけはない。



漢字を書こう。

永
水 5
エイ
ながい

(1) 日本にエイジュウする。

救
文 11
キユウ
すくう

(2) 人をスクう。

提
オ 12
テイ
さげる*

(3) 仕事をテイシユツする。

貧
貝 11
ヒン*
ビン
まずしい

(4) マズしい生活。

復
イ 12
フク

(5) 元気をカイフクする。

暴
日 15
バクウ
あばく*
あばれく*
る*

(6) ボウリョクをふるう。



ことば・コトバ・言葉

1 次の慣用句の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) へそを曲げる
- (2) かぶとをぬぐ
- (3) 身にしみる

□ □ □

- ア 降参するこうさんする
- イ きげんを悪くする
- ウ 強く感じられる

2 次の慣用句の□に入ることばを下の□から選び、書き入れなさい。

- (1) □ をやく（||もてあます）
- (2) □ をかたむける（||熱心に話を聞く）
- (3) □ が重い（||あまり話をしない）
- (4) □ がたたない（||かなわない）

腹はら 口 耳 足
手 腕うで 顔 歯

3 線部の慣用句が正しく使われているほうに○をつけなさい。

- (1) ア かれの絵のみごとさに舌をまいた。
- イ ぼくの絵の方がうまいと舌をまいた。
- (2) ア とても美しかったので首をかしげた。
- イ なぜこんなことが起きたのだろうと首をかしげた。

【はるかさんの提案】

- ① 読みたい本のアンケートを取り、学校で本を買ってもらおう。
- ② おすすめの本を図書新聞などでしようかいする。
- ③ 休み時間にも利用できるよう、司書の先生に相談する。

【アンケートの結果】

図書室の利用回数

- ほぼ毎日 1%
- 週に2～3回 11%
- 週に1回 17%
- 月に2～3回 14%
- 月に1回 14%
- ほとんど行かない 43%

図書室を利用しない理由 (人)

何を読んだらよいかわからない	9
読みたい本が図書室に少ない	18
図書室に行く時間がない	6
開館時間が短い	2
本は自分で買っている	5
読書に興味がない	7
その他	2